

米中対立の先に待つもの(前景)

(津上俊哉著 2022年2月日本経済新聞出版刊)

2022.08.08

2022.08.01

歴史は、「貧富の格差」問題について、人類が累積する矛盾を解決できないときには、それまでの世界の仕組みが破局を迎えるかたちで、矛盾を解決するというパターンを取るように思える。
戦後、ドイツのインフレ、大恐慌、中国の王朝の交替・・・。

100年の時間を経て歴史が繰り返すのか？

世界の経済政策のトレンドの繰り返し。

自由貿易から世界大恐慌を経て、ニューディール政策に見るような「政府の経済への強力な干渉、大きな政府」を経て、「自由貿易、小さな政府、ネオ・リベラリズム」へ、そして「政府の経済介入の強化、大きな政府、配分重視」の方向への転換
→政府の経済への介入は、経済の硬直化を招くと思われる

- ・・・経験したことのない事態を前にして、
先の見えない思いをするときには、**歴史を参照する必要がある。**

デジタル通貨(中国のアキレス腱の解消)

デジタル人民元(ドル決済が止まる時に備えて)

ファーウェイ、アリババ、テンセントなど、中国を代表するIT企業が、今開発・展開しているOS(基本ソフト)はみなオープン・ソースであるが、それを安全のために国家へ集結するという試み

「2020年は転換点であった」

習近平主席がトップの座についてからの9年間に、中国は随分保守化、左傾化した。しかし、2020年からの1年間の保守化、左傾化の進行度合は、それ以前の8年間の異計分を上回るものがあった。
この左傾化が中国をより独裁支配の国とした。

14億国民の集合意識(コロナパンデミックの功罪)

排害的な愛国主義の高まり

米中対立の激化は、中国人の集合意識を準戦時モードの変えてしまったのではないか。

しかし、米中対立は、大変化の前奏曲かもしれない(国際形勢の大変化)。

中国の支配層で今、大きな変化が起きていると思われる。

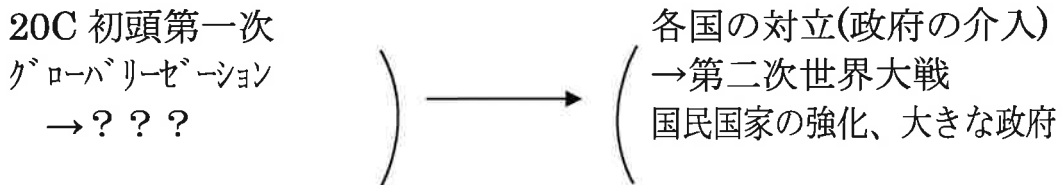
現状(2022. 1. 頃)

1. コロナ・パンデミック前の世界には戻らないと誰もが直感している
中国は一帶一路など割と対外的に平和であったが、コロナ対応で一
気に強硬になった。

2. 世界の経済政策のトレンドの変化
第二次グローバリゼーション



3. 1930年代との類似



100年前の歴史を参照する必要！！

歴史は繰り返す

4. グレートリセット

100年目の大変動、コロナパンデミックが中国の愛国心にスウィ
ッチを入れた左傾化は行きすぎたのではないか。

コロナ・パンデミック前の世界→後の方向

米 国 : (1)「ディール重視」の貿易戦争
(2)「ハイテク冷戦」、超党派からなる対中強硬派
→対立強硬一色

新疆ウイグル自治区での人権侵害介入

中 国 : (1)香港特区における民主派弾圧(米国の裏の煽動)
(2)グローバリゼーションの逆流と国内大循環
→米国の覇権の衰退という認識、中国優越論、習
近平の要注意点(国内大循環へ)

習近平主席とトランプ元大統領の共通点(政治的鉅脈)

習 近 平 末端党员、反腐敗や金持退治、人民ファースト、共同富裕の姿勢
トランプ これまで見向きもされなかった大衆層の大きな政治的鉅脈の発見

グレートリセット

1. 2020年という転換点

〔2020年に起きた大きな変化、100年前の歴史の参照
米国の対中感情、対中政策の変化、習近平の独裁強化〕

- (1) 新しい5ヶ年計画(2021.3正式決定(14次5計))
 - (2) 時間は中国に味方する
 - (3) 成長エンジン 創新・科学技術
 - (4) 2035年の遠景・目標
 - (5) 急激な保守化・左傾化
 - (6) 2020年の転換点「グローバルイゼーション→国内大循環」
- } 国内大循環

2. 時間は中国に味方するのか？

〔経済で米国に上回る国は出ない。中所得国の罨、生産配分の不公平、不動産、借金依存体質、過去の成功要因からの束縛〕

- (1) 突出するデジタルチャイナ
- (2) 米中デジタル競争の行方
- (3) デジタル人民元が実現して、ドル決済の壁を破れるか
- (4) 共同富裕と貧富の格差の解消はできるか
- (5) 3期目、習近平政権を待ち受ける試練
- (6) 不動産バブルの行方と解消は解消の難しい大きな課題
- (7) 富の偏在は解消できるか
- (8) 重い足枷、中国財政の厳しい未来をどうするか
- (9) 少子高齢化、一人っ子政策の反動をどう乗り切るか

3. 振り子としての中国

(中国共産党への批判、中国を変える変数、モデル式)

- (1) 文革世代では中国の新時代を拓けない
- (2) タテ軸制御システム 何でも党が指導(に対するチェックの不足)
- (3) 中国はまた変わる可能性がある

4. 国際秩序のグレート・リセット

〔これからの世界、100年前のグレートリセットの参照
コロナ・米中対立、ロシアの進政、自由貿易体制の縮小〕

- (1) 米中対立にどう臨むか(左傾化は行きすぎていないか)
- (2) インフレは発生するか
- (3) 日本はどう生きて行くべきか

中国の政治の重心はどこにあるのか？

1. 経済は保守的と見ると

外交安保は強硬

(前面に出てこない)

...現役トップ

習近平ら文革世代

(現実の中国)

2. 経済は改革的と見ると

外交安保は協調的

(前面に出てくる)

...西側観察者のサンプリング

観察の誤り易い点、偏り易い点

チャイナ・ウォッチャーの中国観察サンプリングは、大きな偏りがある可能性がある。

例
サプライチェーンの安全確保

ファーウェイ問題に発して

過去の日本の側を見ても解るように米国は2番手の国がGDPで米国の6割に達するとその国をつぶしにかかる
がある
絡喚則

2019年3月、米中の貿易交渉の折、交渉を続けていた米国のライトハイザー代表がラジオ番組に出演して、「中国には改革を進めることが、中国の国益になると信ずる人々がいる。彼等と交渉すべきだ」と発言した。

この発言が大きな間違いであったことが後日判明し、ライトハイザーは強く批判された。

中国の政治の重心はどこにあるのか



デジタル人民元とは何か

1. 米国の状況と米国の懸念
 - ① 寡占化の容認(米国)
フリー・アンド・オープン・インターネット
(インターネットは政府が規制などをかけるべきでない)
 - ② ①を利用して強者の自由を欲しいままにする米国プラットフォーム企業
技術の流出を防ぐため、技術開発をどんどん内製化し、内部完結的な王国を築いてゆく **GAF**A
 - ③ ②が進展すれば、プラットフォーム企業(**GAF**A)の国からの独立を認めることになり、国家として有害ではないか
2. 中国にとって最も最大なアキレス腱は国際決済(ドル依存からの脱却ができなければ・・・)
3. デジタル人民元とはマイクロベースに拡大するマネー管理
貨幣流通量などマクロベースのマネー管理は、国が管理し、個人や企業の現金保有等マイクロベースの管理は金融機関が行っている
デジタル人民元とは国が金融機関に代わり、マイクロベースも管理することである(ドル依存からの脱却を図れる)
4. 中国は 2021.2 香港、タイ、アラブ首長国連邦の中央銀行と「デジタル通過ブリッジ研究事業」で合意した
5. もし、米国が中国金融機関に大々的な金融制裁をしても、「中国デジタル通過ブリッジ」から金融は調達できることになる。

即ち、「ドル決済」が制約されても、「デジタル人民元」決済で、問題なく管理ができる

3 期目・習近平政権の試練

1. 中国成長政策の過去の成功

2008年リーマンショック

胡錦濤・温家宝政権は、成長率の低下を恐れて4兆元の投資刺激策を断行した。中国経済は世界に先駆けて急回復、リーマンショックからの落ち込みから脱出し、世界経済を牽引した。

2. 高成長はまだ続くという幻想

現状意識の欠如があるのではないか

3. 高成長維持幻想の呪縛

高成長の維持期間はあとわずかと考えるべきではないか

4. 中国の年金財政(2019年度)

	(単位：兆円)	
	中 国	日 本
年金収入	689(100)	391(100)
〃 支出	847	530
収支差	△158(△22.9)	△139(△35.5)

5. 社会保障関係赤字

年 度	金額(兆円)
2011	△1
2013	△2
2016	△6
2019	△13

6. 地方財政

第4次5計(2021~2026)の期間中、全省の4分の1は、財政収入の50%以上を元利償還に充てることになるだろう

上海市、海南省、広東省、チベット自治区を除き債務超過状態の地方財政は、国家の大きな足枷となる。

7. 習近平の共同富裕はスローガンだけでなく、実効性はあるのか

中国は「振り子」仮説

1. 高成長維持幻想
 - ・・・時代遅れとなりつつある
2. 仰視・平視・俯視の流れ

左派・保守派	右派(右へのスイング)
マルクスレーニン主義	西側価値観を理解 市場の動きを重視
共産党一党独裁 権力集中	国際協調を重視
計画経済	改革開放の方向
反米色	南巡講話 1992 貧しくて暗い中国へ戻 りたいか
1989 天安門事件	社会主義市場経済 WTO 加盟 2001 民営企業の認知

3. 振り子

左 派	右 派
←	→
	1970年代 毛沢東、文革
	1980年代 改革開放
	1990年代 財政窮乏、民営・外資重視
←	→
	2000年代 財政好転、国進民退の始まり
←	
	2008年 リーマンショックの成功
←	
	2016年 トランプ当選、対米軽蔑
←	
	2020年 コロナ、対米決定的対立
←	
	2021年 3期目習近平思想の強化
	2020年代 経済停滞、左傾化いきづまり
	→

仰視・平視・俯視

1. 中国の振り子 財政事情

	<u>風 潮</u>	
1990年	中国は遅れている	(仰 視)
2008年	リーマンショック 中国のみいち早く経 済が急回復 世界経済の救世主	(平 視)
2016年	トランプ	(俯 視)
2020年	コロナ 特に2020年を境に中国人の対米観 に大きな変化が生まれた	

2. 佐橋亮准「米中対立」

- (1) 3つの期待外れ 市場改革、政治改革、国際貢献
- (2) 中国パワーの米国接近、権力交代

3. 程曉農

中共やソ連の政体は、個人集権と集団指導の間を振り子のように動く

4. 方向方程式

$Z = f(x, y)$ モデル

x : 財政の壊具合

y : 中国と西側との上下関係(仰視、平視、俯視)

z : 中国の方向

5. 習近平の共同富裕は、本当に達成できるのか 金持から→貧乏人への所得の移転は可能か

中国共産党の歴史(的)決議など

1. 1945 (コミンテルン)ソ連留学組の追い落とし
2. 1978 党が文革で犯した過ちの総括
3. 2021.3 14次5計(新5ヶ年計画、国内大循環)
4. 2021.11 6全中全会(歴史(的)決議)
5. 2022秋 中国共産党第20回党大会
6. 韜光養晦(十分な力を備えるまでは内に力を備える)

7. ソ連崩壊の時

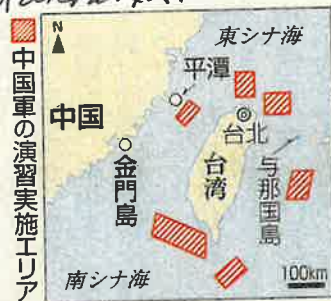
中国がソ連を引継いで国際共産主義運動の総本山になるべきという一部の意見に対し、
鄧小平は言った！！

「決して頭目になろうとしてはいけない、我々にそんな力はない」

8. 中国のGDP美し、太平洋圏構想、2022秋米20回党大会

2022.7.4

後米放電
既得権化の恐れ
ないか



演習は7日までで台湾を取り囲む六つの空・海域で大規模な実弾射撃訓練を展開。一部は台湾の領海と重



中国軍の演習エリア(と中間線)どうか悩んだ。自粛期間は3日と短く(組合員は)我慢できると思う。さらに1週間、10日と延びたら大変なことになると話した。

領土と見なしており、中国国防省は「演習は米国と台湾の結託に対する厳正なる威嚇だ」との談話を発表した。中国軍は東部戦区ロケット軍が台湾東部の海域に向け複数のミサイルを発射し、全て目標に命中させたと公表。台湾国防部(国防省)は4日、中国が台湾の北部と南部、東部の海域にミサイル「東風」計11発を

りの台湾訪問を終えたペロシ氏は3日、声明で、中国の軍事圧力に直面する中で「台湾の自由を守る米議会」の決意を示した」と成果を強調した。ロイター通信によると、米海軍の原子力空母ロナルド・レーガンを中核とする空母打撃群が4日、台湾東方のフィリピン海に展開している。先進7カ国(G7)外相

軍事分野における対話や司法共助、気候変動問題での協議などを停止すると発表。米中関係の一層の悪化は必至だ。中間線は米国や台湾が設定したが、中国も不測の事態を回避するため尊重してきた。だが近年、中国は中間線の存在を明確に否定し、軍用機を台湾側に進入させるケースが増加。今後軍艦の中間線越えを常態化させ、軍事行動を過激化させる恐れがある。

日本（グレート・リセットに対して）

1. 1980年代の黄金時代は去った
2. 最近までの落込み、衰退、下げ止まりの気配もない
3. しかし、依然として大国の一角、21Cを生き抜く必要性がある
4. 課題先進国として
不良債権の処理、ゼロ金利政策、少子高齢化、人手不足
新しいことを始めるのが遅くて下手
5. 生き残りに有利な国民性
現場力の強さ
ムラ的なまとまりで集団の安定
災難に対する自律的回復、安定、秩序
学ぶ(模倣)ことの得意な国民性
明治維新、戦後の復興という成功体験
6. 消化、改善することの上手な国民性
古代、中世、江戸時代

大中華圏は、日本に対する脅威としてネガティブにとらえ

ておらず、日本がそれらに動揺しない

しなれば、それらに動揺しない国家と見て、21世紀を

乗り切っていく権威を持つべきである

2012.12 大中華圏 寺島実郎著 NHK出版

歴史的に 2000年の長期に渡り、迅速成長を遂げた。多大な本社会に

対して 中国に対し、深い感謝の念を持ち、

今後の中国の発展に肯定的な態度を持つべきである。

米中対立の 先に待つもの

What Lies Ahead in the
U.S.-China Conflict

津上俊哉

グレート・
リセットに
備えよ



中国の膨張主義は
永続きしない

日本経済新聞出版

中国は「振り子」のように変わる。
米中対立は大変化の前奏曲にすぎない。

大中華圏

(幸島美郎著、NHK出版 2012.12刊)

2022.08.05

1、1900年9月8日 夏目漱石はロンドンに留学に滞在した。

香港滞在申請書・履歴を手にして。

「上海も、香港も巨大な国に変わってきた、

どうして横濱、神戸の比ではないのか。 ---」

2、1842年 開港場の香港を割譲された以来、

列強はみなみなと中国と密接な関係

3、シンガポールには日本人売春婦 (カチヤキモノ) が

611人も存在していた

4、大中華圏は既に100年以上前に存在していた

英語を(元)中国人は香港を中心として

5、日本人を冠して支那人といふのは厭かざるは如何、
支那人は日本人より遙かに名譽ある国民なり、

此の如きは日本人と呼はざる可也、支那人といふは
名譽を失ふ事なり

何れも然らざるにせよ 日本は今日とて此れを
支那の危存に於ては、……

6、冷戦の終りたる 20 年、（1991 年ソ連崩壊）

社会主義国の中心、何故中国に於ては
この下で成長軌道を失ふべきなるか、

➤ 東欧諸国の、社会主義時代の不効率な官僚制

が克服に向かう中、

何故中国に於ては

1997 年のアジア金融危機を乗り越え

2008 年のリーマンショックの世界不況を乗り越え

るのも、この時代の成長軌道に於ける何れか

8. 中国はネオコリアン型発展の中にある

華人圏の 香港、台湾、シンガポールとネオコリアン

口部の 経済的右連いはここにあり

9. 陸の中国 —— 中華人民共和国

海の中国 —— 香港、台湾、シンガポール

をdeか —— 大中華圏

10 華僑 - 華人ネオコリアン

海北の至るとは華僑列

11. 中国の革命が世代的に継承、习近平

2012. 11. 第十八回全国代表大会

习近平 1953年6月15日生

12. 习近平の体験

(1) 農村下放

1969. 1 16歳 陝西省延川縣に下放 7年

75 23歳 清華大學入学

76 先次車死去

党軍轉業局会秘書長

25年間 地方行政を担当

民生、福祉重視

(2) 米國体験

1985 阿肯色州 2年-4年

2012 副大統領秘書、阿肯色州知事

13. 宋中协力

- (1) 相互理解
- (2) 核心的利益 (台湾、4心水) の尊重
- (3) 相互利益の確保
- (4) 国际的 地域的 学識的 协力

近年 朝野 雑説

14. 世界最大のインターネット埋蔵の中国

15. 三つの分断

統合の意識、危機

(1) 台湾海峡問題

台湾の変化 (馬英九)

経済的 外交的 関係

特に 姓名を 判り易く



スリム (slim) の意識
ZWW 内容

(2) 沿海部と内陸部の問題、格差

(3) 新疆ウイグル、チベットの問題

(ウイグル人) (チベット人)

16、シンガポール

笑若民の北朝鮮

17 中国の将来

(1) 共産党一党支配

(2) 民主化と北中国

18 一党一制時代

国家も個人も単独では何も成らない時代

19. 全~~員~~参加型秩序

相互依存

20. 補~~ワ~~型飛展

21. 右~~シ~~化粧品

香港華僑資本と戦略的提携

→ 大中華圏を一体として攻める戦略

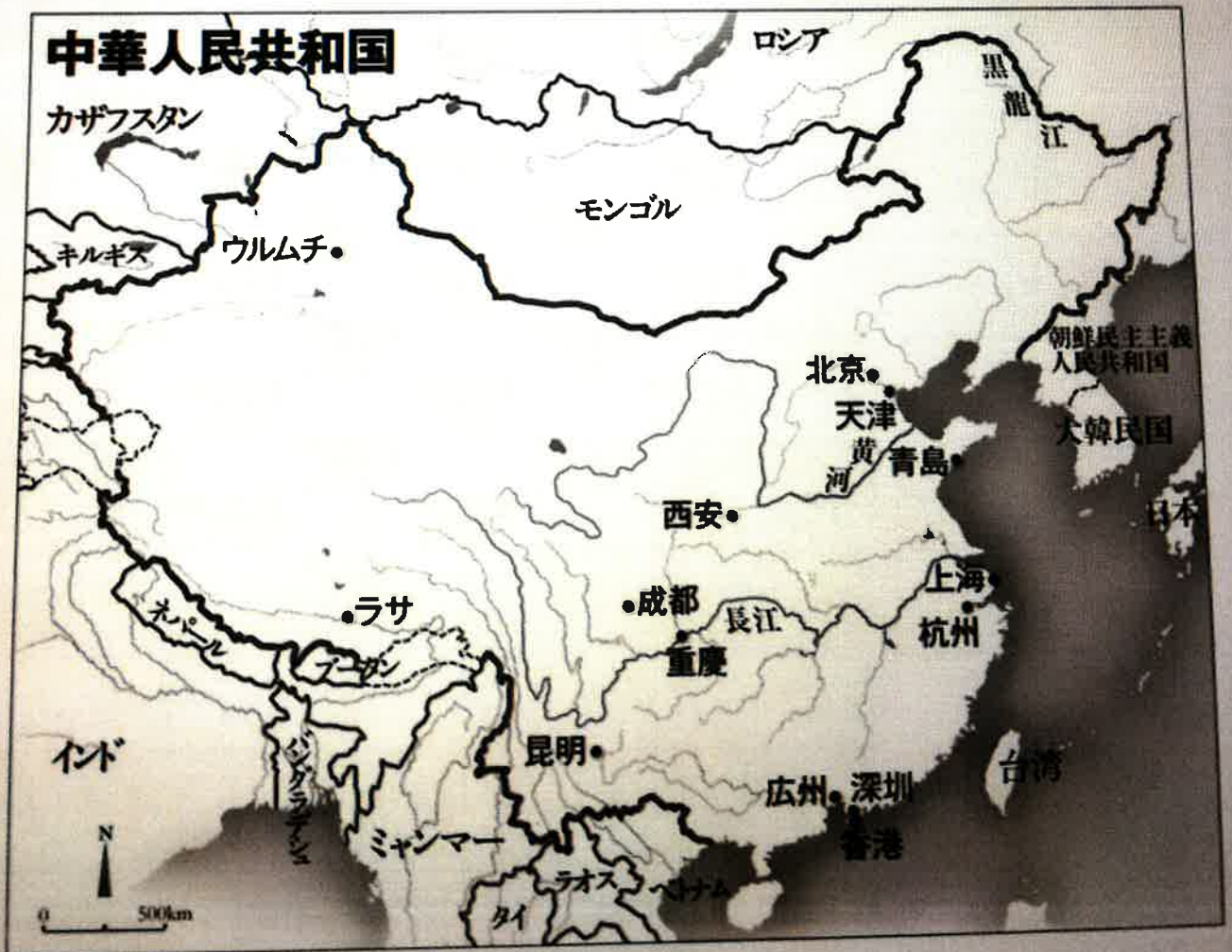
→ 右~~シ~~型~~シ~~に参考

22. 大中華圏を立体的にとらえる

唐の中国統一(7世紀前半)



中華人民共和国



アメリカが日本に返還した領域 (沖縄返還協定、1971年6月17日調印)

中国

0 100 200km

東シナ海

北緯28°東経124°40'

北緯28°東経128°18'

北緯27°東経128°18'

北緯27°東経131°50'

北緯24°東経139°

北緯24°東経122°

南諸島
宮古島
石垣島
西表島
八重山列島

尖閣諸島

西

久米島

那覇

沖縄島

諸

与論島

沖永良部島

徳之島

界島

奄美大島

南

屋久島

薩

種子島

沖大東島

南大東島

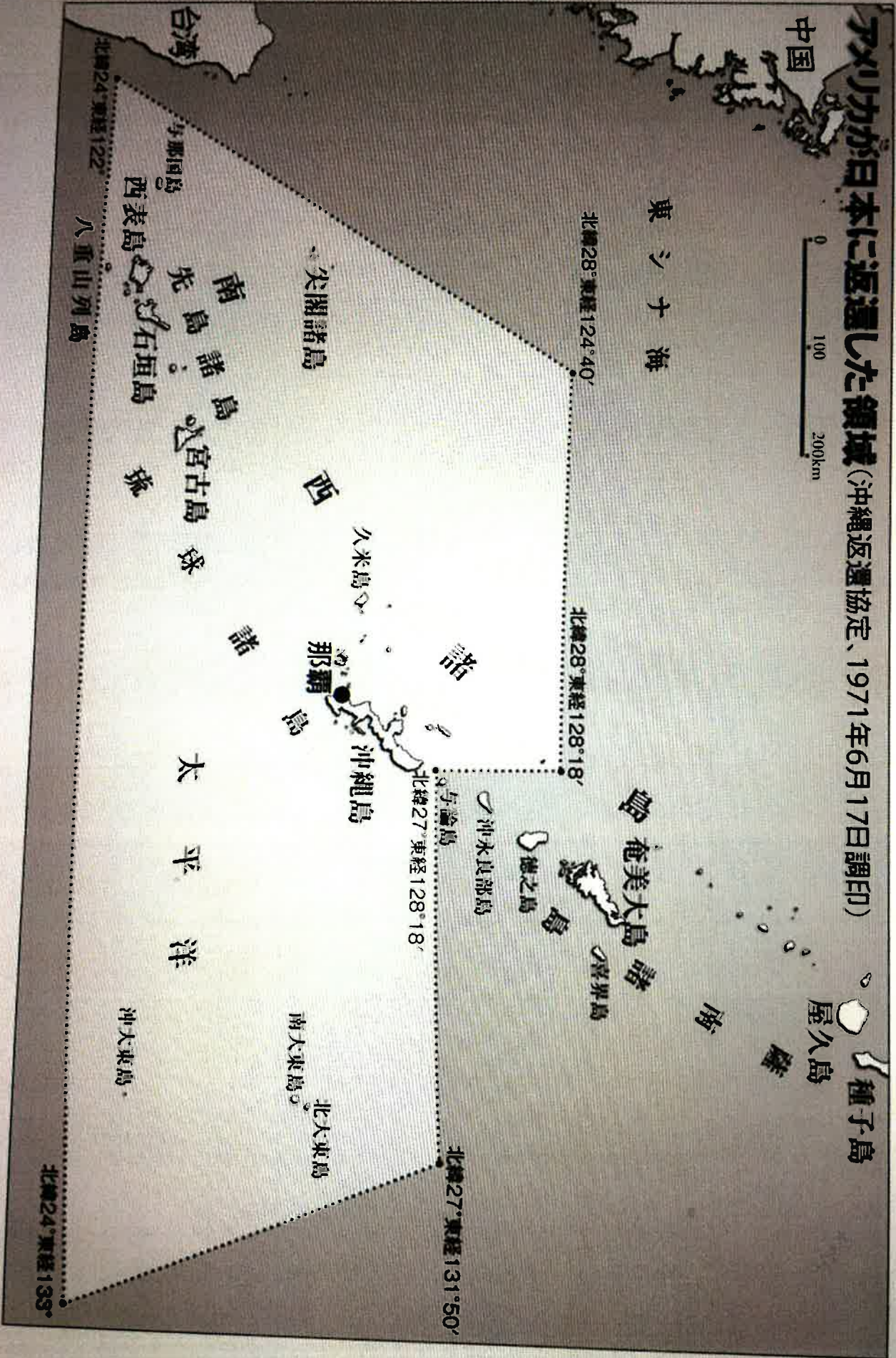
北大東島

台湾

与那国島

西表島

八重山列島



図表9 中国指導者の世代交代

世代	期間	主要指導者	主要政治グループ	出来事
第一世代	1949～76年	毛沢東、周恩来 劉少奇、鄧小平 林彪	<ul style="list-style-type: none"> ・改革実務派 (劉少奇、鄧小平) ・文革グループ 	<ul style="list-style-type: none"> ・1966年から文化大革命 ・1976年毛沢東死去
第二世代	1976 ～90年代初期	鄧小平、薄一波 葉劍英、楊尚昆 胡耀邦、趙紫陽	<ul style="list-style-type: none"> ・長老グループ ・改革派(胡耀邦) 	<ul style="list-style-type: none"> ・1989年天安門事件
第三世代	1990年代初期 ～2002年	江沢民 朱鎔基、李鵬	<ul style="list-style-type: none"> ・上海閥 ・長老グループ 	
第四世代	2002～12年	胡錦濤 温家宝、曾慶紅	<ul style="list-style-type: none"> ・上海閥 ・共青团派 	<ul style="list-style-type: none"> ・2008年北京オリンピック ・2010年上海万博
第五世代	2012年～	習近平 李克強ほか	<ul style="list-style-type: none"> ・共青团派 ・太子党 	



シルクロードと一带一路 (シルクロードの始まり)

9月①のごあいさつ
山内公認会計士事務所
2022年9月1日(木)

シルクロードと言えば、第一に頭に浮かぶのは漢の張騫である。
漢の武帝が、宿敵匈奴を挾撃するために西域の大月氏国へ送った使者である。
張騫の二度の西域行は当初の軍事目的は達せられなかったが、中国と西域の通商と文化の交流に初めてと言える貢献をした意義は大きい。
尚、「シルクロード」という名称は、19世紀にドイツの地理学者リヒホーフエンがその著書において使用したのが最初ということである。

シルクロード交易は、中国、インド、ヨーロッパの長距離の政治・経済関係を築くことで、文明発展に重要な役割を果たした。史記には、その国々はイラン、アレキサンドリア、ローマ、シリア、インドなどと記されている。これらの国々にシルクをはじめとする中国の財貨を持ちこみ、それぞれの交易国の様々な物産を中国に持ちかえたのである。

その交易は、中国から輸出されたシルクの他にも仏教、哲学、科学、紙や火薬などの技術の経済的貿易に加えて、そのルートに沿った文明間の文化的交易路ともなった。ペスト等の病気もシルクロードにより伝播したという。

具体的には、ユーラシア大陸北方の草原地帯のルートである「草原の道」。中国の西安から北上して、モンゴルやカザフスタンのステップ地帯を通り、アラル海やカスピ海の北側から黒海北側の南ロシア草原に至る古来からの交易路、この地に住むスキタイや匈奴、突厥といった多くの騎馬民族が、東西の文化交流の役割をも担った。

「オアシスの道」は、東トルキスタンを横切って東西を結ぶ隊商路である。長安を発って、蘭州市のあたりで黄河を渡り、河西回廊を経て敦煌に至る。

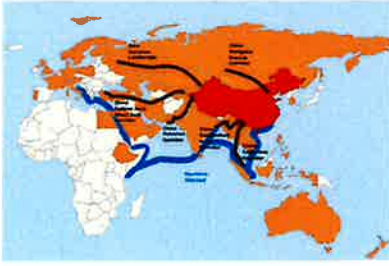
それから先は三つに分かれる。

一つは、天山山脈の北側を通りイリ川流域に至る「天上北路」。

一つは、敦煌からクチャを経て天山山脈の南麓に沿ってパミール高原に至る「天山南路」。

そして、もう一つは、タクラマカン砂漠の南側を通るルート。敦煌から崑崙山脈のオアシスを辿ってパミール高原に達する「西域南道」である。

参照：司馬遷 史記(徳間書店)、Wikipedia、シルクロードの旅 陳舜臣 (2021年講談社)



シルクロードと一帯一路 (モンゴルの世界帝国建設)

9月②のごあいさつ

山内公認会計士事務所

2022年9月11日(日)

そして後漢の時代(AD25年～220年)、班超が西域都護府を支配し、その使節をローマ、シリアへ派遣して、東西の関係は絶えることはなかった。4世紀末のフン族(南匈奴系)の西進に解発されたゲルマン民族のローマ帝国内への移動もその一つとも言える。

12～13世紀にチンギス・ハンに率いられて、当時の世界の大部分を席卷したモンゴルは、東の中国と西の地中海世界を結ぶ「草原の道」を支配することによって、ユーラシア大陸に一大世界帝国を建設した。

このとき、シルクロードは、ユーラシア大陸全体を見渡せる一つの世界図として我々の眼前に姿を現した。

チンギス・ハンとその子孫に率いられたモンゴルの世界征服の原則は解り易いものであった。

モンゴルに降服せず抵抗する者は全て抹殺する。無条件で降服した者は簡単な人頭税を課して存続(自治)を許す。

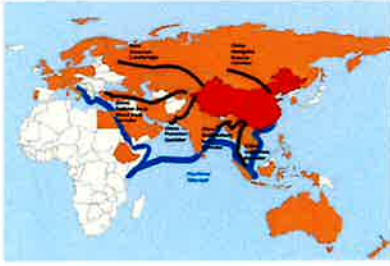
チンギス・ハンは大遠征ののち、遠征した領土をジョチ(長男)、チャガタイ(二男)、オゴディ(三男)に与え、モンゴル本土は末子相続の原則により、トルイに与え、子供たちは東欧、中央アジア、中国に帝国を築いた。

世界の歴史に果たしたモンゴルの役割は、世界を一つのものとしたことである。それまで二つ又は三つの世界が分立していた。それは春秋戦国時代を統一した秦の始皇帝の中国世界、ギリシア、ローマの地中海世界、世界文明の発生地である中東世界であった。モンゴルが統一し、その後に世界は分立して世界の国々が現れた。

そして、現代の国境線の多くはモンゴルの征服により決められた。

シルクロードという世界を一つのものとする領土と精神の実現はモンゴル帝国によってなされ、その精神はそれ以後に引継がれたと言える。

参照：Wikipedia、シルクロードの旅 陳舜臣著(2021年講談社) モンゴル帝国の興亡 岡田英弘著(2014年筑摩書房)



シルクロードと一帯一路 (21世紀のシルクロード)

9月③のごあいさつ

山内公認会計士事務所

2022年9月21日(木)

21世紀のシルクロードは、中国の新しい対外開放戦略の一環である。2013年中国国家主席“習近平”が、アジア、ヨーロッパ、アフリカ大陸にまたがる経済圏構想、「シルクロード経済ベルト」と「21世紀海上シルクロード」を併せた「一帯一路」構想を打ち出したことにより始まった。

シルクロード「一帯一路」を通じての開放型の世界経済システムによって、**地域協力と文明の交流の実現**を図り、中国及び世界の発展構想として提案し、実現へのスタートが切られた。

2017年5月、北京での「一帯一路」国際協力サミットフォーラム(29カ国参加)が開催された。「一帯一路」におけるインフラ整備を資金面から支援するためのシルクロード基金、アジアインフラ投資銀行(AIIB)、新開発銀行(NDB)が中国の主導で設立されている。

一帯一路構想の対象地域は、アジア、ヨーロッパ、アフリカ大陸にまたがる経済圏である。

「一帯」シルクロード経済ベルトとは、中国から①中央アジア、ロシアを経て、ヨーロッパに至るもの、②西アジアを経て、ペルシア湾、地中海に至るもの、③インドシナ半島を経て、インド洋に至るものである。

「一路」21世紀海上シルクロードとは、中国の沿岸湾から①南シナ海を通り、マラッカ海峡、インド洋を経て、ヨーロッパに延伸するもの、②南シナ海を通り、南太平洋へ延伸するものである。

そしてその協力の枠組みは、「六廊、六路、多国、多港」の共同建設を通じて実現するとされる。

しかし、現実の中国は、国内的にも**地域の格差**を抱え、対外的にも**先進国との利害の衝突**、開発途上国への適切な経済協力の実現など克服すべきいくつかの課題を抱えている。

このような状況の中で、結果として、**中国の利益を図り乍ら、各国の利益を実現し**、「開放型の世界経済システムを守る」、「自主的で、均衡のとれた接続可能な発展を実現する」という目的を達成できるか否かという大きな課題がある。

参照：一帯一路(全球發展的中国邏輯) 馮兼著 (2015年 新華書店) 米中対立の先に待つもの 津上俊哉著 (2022年 日経BP)

一帯一路構想 (ONE BELT AND ONE ROAD)

2022.08.08
(2022.08.01)

No.	説 明	注
1.	<p>習近平(1953～) 2012年11月共産党総書記 2013年3月国家主席及び国家中央軍事委員会主席</p>	<p>(1) BC 221年秦始皇統一中国 (2) BC 126年汉武帝开丝绸之路 (3) 1266年成吉思汗建立蒙古国 (4) 2013年习近平倡议一带一路</p>
2.	<p>一帯一路構想(一帯一路インシアティブ) (1) 開放型の世界経済システム (2) 持続可能な中国の発展 (3) 地域協力の深化 (4) 文明の交流。相互参考の強化 (5) 世界の平和・安定を守るという中国の主張 (6) 国際的経済ガバナンス・システムの発展 (7) 中国の責任感の表れ</p>	<p>支持者称讚, 可能提高 全球GDP, 尤其是发展中 国家更能受惠。 反对者批评 有机会侵犯 人权和影响环境。 另外, 通过 债务陷阱外交 的新殖民主义和经济帝国主义。</p>
3.	<p>構想段階(中国版マーシャルプラン) (1) 就任して間もなく、習近平国家主席は、 2013年に一帯一路構想を打ち出す (2) 2013年9月カザフスタン大学演説「シ ルクロード経済ベルト建設構想」 (3) 2013年10月、インドネシア国会演説 「21世紀海上シルクロード建設構想」 (4) 2017年5月、北京で「一帯一路」国際 協力サミットフォーラム(29カ国参加) (5) シルクロード基金、アジアインフラ投資 銀行、BRICS 新開発銀行</p>	

No.	説明	注
-----	----	---

4. 「一带一路構想」の対象地域

- (1) アジア、ヨーロッパ、アフリカ大陸にまたがる経済圏構想
- (2) 「一带」シルクロード経済ベルト
 - ① 中国西北、東北から中央アジア、ロシアを経てヨーロッパに至るもの
 - ② 中国西北から中央アジア、西アジアを経てペルシャ湾、地中海に至るもの
 - ③ 中国西南からインドシナ半島を経て、インド洋に至るもの
- (3) 「一路」21世紀海上シルクロード
 - ① 中国の沿海湾から南シナ海を通り、マラッカ海峡、インド洋を経て、ヨーロッパに延伸するもの
 - ② 中国の沿海湾から南シナ海を通り、南太平洋へ延伸するもの
- (4) 協力の枠組み「六廊・六路・多国・多港」の共同建設
 - ① 六廊 新ユーラシア、モンゴル、中央アジア、インドシナ半島、パキスタン、インドの六大国際協力回廊
 - ② 六路 鉄道、道路、海軍、航空、パイプライン、情報網等の相互接続
 - ③ 多国 一群の選考協力諸国
 - ④ 多港 海上輸送主要ルートของ 安全性

“一带”
 一是经中亚、俄罗斯到达欧洲
 二是新疆经巴基斯坦、到印度洋，中亚与西亚到达波斯湾和地中海沿岸各国。

“一路各”
 沿着海上丝绸之路。

5. 「目的」

- (1) 開放型の世界経済システムを守る
- (2) 多様で、自主的で、均衡のとれた接続可能な発展の実現

No.	説明	注
6.	<p data-bbox="368 324 710 369">「中国の多くの課題」</p> <ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="368 376 1077 421">(1) 東部(沿海地域偏重)と中西部の格差問題<li data-bbox="368 427 1077 472">(2) 東部から中西部への生産能力の移転の加速<li data-bbox="368 479 1077 524">(3) 東部沿海地域における対外開放の恩恵<li data-bbox="368 530 1077 575">(4) 海外からの直接投資と先進国市場への依存<li data-bbox="368 582 1077 627">(5) 中国の海外進出の重視<li data-bbox="368 633 1077 678">(6) 開発途上国との経済協力<li data-bbox="368 685 1077 730">(7) アジア地域の一体化の促進と交通路の開拓<li data-bbox="368 736 1077 781">(8) アジア全体の発展、制度改革<li data-bbox="368 788 1077 862">(9) 古代シルクロードで見られた平和、友好、包容、ウィンウィンの精神	
7.	<p data-bbox="368 1086 1013 1131">「5つの分野」におけるこれまでの成果</p> <ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="368 1137 1077 1377">(1) 政策面の意思疎通 ロシアの「ユーラシア経済同盟」 ASEANの「相互接続基本計画」 トルコの「中間回廊」、モンゴルの「発展の道」など<li data-bbox="368 1384 1077 1713">(2) インフラの連結 高速鉄道 港湾の接続 陸海空ルート 情報ハイウェイ パイプライン網 等複合型のインフラ網の形成<li data-bbox="368 1765 1077 1915">(3) 貿易の円滑化 貿易協力区の建設 貿易総額の上昇<li data-bbox="368 1966 1077 2085">(4) 資金の融通 シルクロード基金の投資額は40億ドルに達した	

(5) 民心の意思疎通

インテリジェント・シルクロード

健康シルクロード

民間協力

8. 今後の課題

(1) 中国の利益 にならないか

(2) 各国との協力

(3) 資源をめぐる問題

(4) ロシア、インド等大国との確執

(5) 領土、領海の問題

(6) 政治情勢

中国共産党の歴史(的)決議など

1. 1945 (コミンテルン)ソ連留学組の追い落とし
2. 1978 党が文革で犯した過ちの総括
3. 2021.3 14次5計(新5ヶ年計画、国内大循環)
4. 2021.11 6全中会(歴史(的)決議)
5. 2022秋 中国共産党第20回党大会
6. 韜光養晦(十分な力を備えるまでは内に力を備える)
7. ソ連崩壊の時

大中華

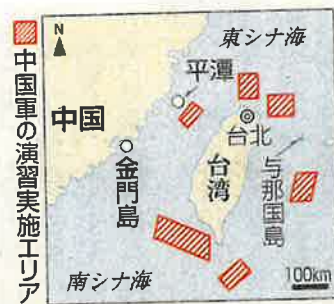
中国の自信

強硬な変化

中国がソ連を引継いで国際共産主義運動の総本山になるべきという一部の意見に対し、鄧小平は言った！！

「決して頭目になろうとしてはいけない、我々にそんな力はない」

2022.7.4



演習は7日までで台湾を取り囲む六つの空・海域で大規模な実弾射撃訓練を展開。一部は台湾の領海と重



中国軍の演習エリア(と中間線)どうか悩んだ。自粛期間は3日と短く(組合員は)我慢できると思う。さらに1週間、10日と延びたら大変なことになる」と話した。

領土と見なしており、中国国防省は「演習は米国と台湾の結託に対する厳正なる威嚇だ」との談話を発表した。中国軍は東部戦区ロケット軍が台湾東部の海域に向け複数のミサイルを発射し、全て目標に命中させたと公表。台湾国防部(国防省)は4日、中国が台湾の北部と南部、東部の海域にミサイル「東風」計11発を

りの台湾訪問を終えたペロシ氏は3日、声明で、中国の軍事圧力に直面する中で「台湾の自由を守る米議会への決意を示した」と成果を強調した。ロイター通信によると、米海軍の原子力空母ロナルド・レーガンを中核とする空母打撃群が4日、台湾東方のフィリピン海に展開している。先進7カ国(G7)外相

軍事分野における対話や司法共助、気候変動問題での協議などを停止すると発表。米中関係の一層の悪化は必至だ。中間線は米国や台湾が設定したが、中国も不測の事態を回避するため尊重してきた。だが近年、中国は中間線の内容を明確に否定し、軍用機を台湾側に進入させるケースが増加。今後、軍艦の中間線越えを常態化させ、軍事行動を過激化させる恐れがある。

倡议提出

2013年9月，中共中央总书记、中国国家主席习近平到访哈萨克斯坦，提出共同建设“丝绸之路经济带”。习近平在同年10月於印度尼西亚国会演讲时提出共同建设21世纪“海上丝绸之路”。同年11月中共十八屆三中全會把“一带一路”升级为国家战略^{[14][3]}。

2015年2月1日，由中共中央政治局常委、国务院副总理张高丽领导的推进“一带一路”建设工作领导小组正式成立。首任组长为張高麗，副组长为王沪宁、汪洋、杨晶、杨洁篪。

同年3月，中国国务院总理李克强在亚洲和欧洲訪問時進一步推廣^[15]“一带一路”，並將其寫進政府工作报告中^[16]。28日，国务院授权国家发改委、外交部、商务部等三部委联合发布《推动共建丝绸之路经济带和21世纪海上丝绸之路的愿景与行动》白皮书^[17]。

丝路基金的设立

主条目：[絲路基金](#)

中華人民共和國政府出資400億美元，於2014年成立丝路基金以推動亞洲地區經濟發展。基金將向「一帶一路」沿線國家的基建、開發、產業合作等項目提供融資^[18]。2017年，习近平再宣布向该基金增资1000亿人民币。

亚投行的设立

主条目：[亚洲基础设施投资银行](#)



亚洲基础设施投资银行签约国和正式批准的成员国

- 域内签约国
- 域内正式成员国
- 域外签约国
- 域外正式成员国

2013年10月2日，中共中央总书记、中国国家主席习近平在雅加达同时任印尼总统苏西洛举行会谈，习近平倡议筹建亚洲基础设施投资银行，促进本地区互联互通建设和经济一体化进程，向包括东南亚国家联盟在内的本地区发展中国家的基础设施建设提供资金^[19]。同月，中国国务院总理李克强出访东南亚时，紧接着再提出筹建亚投行的倡议^[20]。

2014年10月24日，中华人民共和国、印度、新加坡等21国在北京正式签署《筹建亚投行备忘录》^[21]。

2015年3月12日，英国率先报名加入亚投行的意向创始成员国^{[22][23]}。次日瑞士也提出申请意愿，随后，法国、意大利、德国等发达国家也表态跟进。韩国、俄罗斯等域内国家和巴西也在申请截止日期3月31日前相继申请加入意向创始成员国。

2016年1月16日至18日，亚洲基础设施投资银行的开业仪式在北京举行，16日上午在北京钓鱼台国宾馆，中共中央总书记、国家主席习近平出席亚投行的开业仪式并致辞，分别致辞的还有亚投行行长金立群，金立群表示，亚投行的核心价值观是“精干、廉洁和绿色”^[24]。同日下午，中共中央政治局常委、国务院总理李克强出席亚投行理事会成立大会并致辞^[25]。在亚投行理事会成立大会第一部分议程中，财政部部长楼继伟被选举为首届理事会主席。

中巴经济走廊

主条目：[中巴经济走廊](#)

中国大陆与巴基斯坦合作开展了一系列的大型工程计划，长达3000公里，投资460亿美元^[26]。也将成为一带一路的枢纽和旗舰项目^{[27][28]}。

2013年8月27日，中巴经济走廊秘书处在巴基斯坦首都伊斯兰堡设立^[29]。2014年2月，巴基斯坦总统侯赛因在对中国大陆的国事访问中讨论了相关议题^[30]。两个月后，巴基斯坦总理谢里夫同中华人民共和国国务院总理李克强会面讨论了项目的计划^[31]。2014年11月8日，在中华人民共和国国务院总理李克强与巴基斯坦总理谢里夫的共同见证下，中华人民共和国国家发展改革委副主任、国家能源局局长吴新雄与巴基斯坦水电部常秘穆罕默德·尤尼斯·达加签署了《中巴经济走廊能源项目合作的协议》^[32]。

2015年4月20日，在中国大陆领导人习近平访问巴基斯坦期间，中巴之间签署了总共51个项目的合作协议和备忘录^{[33][34][35]}。

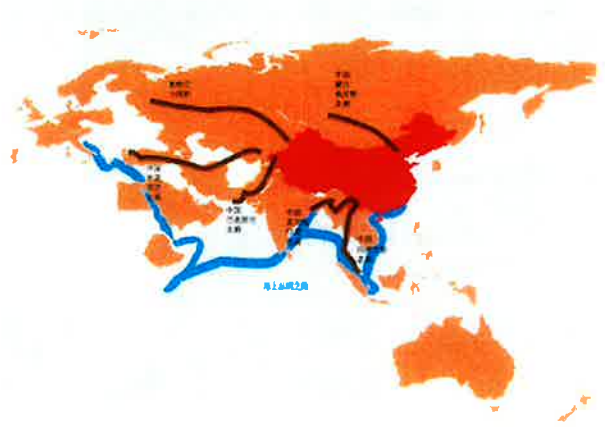
2017年4月，为对接“一带一路”建设，巴基斯坦当局计划在中巴经济走廊项下建设九

雁栖湖，由29個國家的**国家元首或政府首脑**及各國際組織代表参加了领导人圆桌峰会^{[85][86]}。这次圆桌峰会由习近平主持，中共中央政治局常委、国务院副总理**张高丽**也作了发言^[87]。

出席会议的还包括**阿根廷总统马克里**、**白俄罗斯总统卢卡申科**、**智利总统巴切莱特**、**捷克总统泽曼**、**印度尼西亚总统佐科**、**哈萨克斯坦总统纳扎尔巴耶夫**、**肯尼亚总统肯雅塔**、**吉尔吉斯斯坦总统阿坦巴耶夫**、**老挝国家主席本扬**、**菲律宾总统杜特尔特**、**俄罗斯总统普京**、**瑞士联邦主席洛伊特哈德**、**土耳其总统埃尔多安**、**乌兹别克斯坦总统米尔济约耶夫**、**越南国家主席陈大光**、**柬埔寨首相洪森**、**埃塞俄比亚总理海尔马利亚姆**、**斐济总理姆拜尼马拉马**、**希腊总理齐普拉斯**、**匈牙利总理欧尔班**、**意大利总理真蒂洛尼**、**马来西亚首相纳吉**、**蒙古国总理额尔登巴特**、**缅甸国务资政昂山素季**、**巴基斯坦总理谢里夫**、**波兰总理希德沃**、**塞尔维亚总理暨当选总统武契奇**、**西班牙首相拉霍伊**、**斯里兰卡总理维克勒马辛哈**等国家的领导人，以及**联合国秘书长古特雷斯**、**世界银行行长金墉**、**国际货币基金组织总裁拉加德**等国际组织的领导人^{[87][88]}。会议最终通过了一份联合公报^[88]。

此外，**韩国执政党共同民主党**议员**朴炳锡**（**国会副议长**级别）^[89]、**朝鲜**对外经济相**金英宰**^[90]、**日本自民党**干事长、前经济产业大臣**二阶俊博**、**英国**财政大臣**哈蒙德**、**美国****特朗普**政府的高级顾问兼**国家安全委员会**负责东亚事务的**波廷杰**及其所在代表团分别代表本国受邀出席该峰会^[91]。

參與方



紅色為**中國大陆**，橙色為**亞投行的成員**，黑色為**六大走廊**^[92]。

截至2022年3月，中国已经与149个国家和32个国际组织签署了200多份共建“一带一路”合作文件^{[1][93][94]}。

- 以下列表根据国家/地区的英文字母开头顺序排列。

トインビー 歴史の研究①

(1~126)

2022.08.08
2021.10.04
2021.09.18
2021.06.28

項 目

内 容

備考

トインビー史学
(7-

1. 1929年(満州問題) 厳粛な一言

1931年満州事変の2年前の秋に京都で開かれた第三回太平洋問題調査会国際会議で来国したトインビーは、日本は一つの歴史的な運命的岐路に立っていると説いた。

「満州問題に対する日本の責任は大きい、それは日本の運命を決する」という厳粛な一言であった。その言葉は、日本にして一步誤まらんか、そこをみまうものはローマ帝国と戦ったカルタゴの運命であるという洞察があった。

歴史的、運命的な岐路に立っている日本の責任は大きく、日本の運命を決する。

日本は単に中国と戦うのではなく、アメリカやソ連のような、20世紀の産業的ローマ帝国と戦うことになるのであるという、世界文明の視野に立った歴史の教訓がその念頭に去来していたのである。

それ以後の歴史の進展は、トインビーの予言した方向に進む。

2. 歴史の進展

彼の歴史の理解尺度は、日本も、英国も、アメリカも、ソ連も孤立的には存在していなかった。

彼が見ていたものは、西欧文明であり、東洋文明であり、そしてその接触交渉であり、その帰結であった。

その尺度は、ギリシア・ローマ文明、否すべての既存文明の生起興亡の理論であった。

再度の来日
(11-

学び取った教訓は、その民族だけでなく、同胞である全人類のために学び取れたのである。原子力時代においては、人類は自分たちを亡ぼすまいとすれば、一つの家族となって生活することを学び取らねばならない。これこそ、日本の学び取り、そして他に教え伝えることのできる真実である。

項 目

内 容

備 考

ヘロポネス戦争
と第一次世界大戦
(16ー)

自分の生きている時代を、高みから眺めるのは意外に難しい。ある時代を俯瞰できるのは、その時代を終わった後の人の特権である。その特権は、歴史を読むことによって行使される。渦中にいる人々は、得てして見通しがきかない。

(太平天国戦争の長沙攻防戦)

長沙の城壁の見物衆は、歴史を読む立場にある。歴史を読む人には、その原因からいきさつまで手にとるようにわかる。隋の南北統一は、いきなりあらわれたのではなく、広く見渡せば、その前兆をいたるところに見出せる。そして統一を促したのは文明の持つ力である。

自分たちの不足しているものを、相手方のなかに認めるのが統一の前提である、それを認める文明の力が、そこまで達していなければならない。

文化的に進んだ南を獲得した北(隋)は、大英断をもって官僚の任命を中央に改めた。

これにまさる大英断は、科挙の制度をはじめたことである。全国から600人近い貢子が送られ、彼らは特別の試験を受けた。このときから中国の受験地獄が始まった。隋の文帝によるこの制度は、実に時宜を得たものであった。全国の秀才を吸収すると同時に新領土の人心をなだめる懐柔策でもあった。(陳瞬臣)

柳条湖事件を契機とする満州事変の勃発、国際連盟からの脱退、日華事変への拡大、太平洋戦争への発展、そして、最後に原子爆弾とソ連の参戦によって、ポツダム宣言の受諾、終戦となり、占領下におかれることとなった。

そのときになってはじめて、16年前、われわれ日本人に対して、自らの過誤によって不幸な運命を招かないように、警告を与えてくれたトインビーのことが思い出され、忘れがたいものとなった。

項目

内容

備考

われわれ日本人としては、トインビーの警告にも関わらず、列強の勢力均衡の番犬たる地位を忘れ、無謀な大陸侵略政策をとった近視眼こそ、地方的近視の典型となるものであった。(訳者)

原子力時代においては、人類は自分たちを滅ぼすまいとすれば、一つの家族となって生活することを学びとらねばならない。
これこそ日本が学びとなり、そして他に伝えることの真実であると、わたくしは信じる。(トインビー)

項 目

内 容

2024.08.16

備考

1932年夏、アインシュタインが最も大事だという問題、「人間を戦争というくびきから解き放つことはできるのか」について、心理学者フロイトと往復書簡が交わされた。

フロイトは、「人はなぜ戦争をするのか」、「戦争を確実に防止するためには、人類が一つの中央集権的な政府を設立することに合意する必要があります。

すべての利害の対立を調定する権利を、この中央政府に委ねなければなりません。

そのためには、①このように上位に立つ機構が設立されること、②その機構に必要とされる権力が譲渡されることです。」と言った。これはまるで中国の王朝である。

項 目

内 容

備
考

1933年には、満州国問題を巡り国際連盟から脱退、日本は孤立を深め、ナチスドイツとの同盟と真珠湾への道に追い込まれていく。

日英同盟を名目に第一次大戦に参戦、1915年の対華 21 カ条の要求、1917年のロシア革命に対するシベリア出兵…植民地帝国への道を進み、アジアの自主自尊に資する日本の選択を構想できず、欧米追従路線と進む中で、列強の番犬的な身分を、いつか忘れる行動をとったのが誤りであった。

それに対して、フロイトは「共同体を構成するには二つの条件が必要です。①暴力に対する強制と②成員の感情的な結びつきです。(心理学では同一化と呼ぶ)

ただし、片方が欠けていても、残りの条件では、共同体を維持することはできます。この片方と共同体の成員の一体感という理念を損~~き~~得ることが必要です。」と応じ、^{持ち}

「法とはもともとはむき出しの暴力だったことを忘れてはならない。[↑]理念の力で現実の権力を抑えようという試みは今のところは失敗する運命にある。」

「人間がいかに戦争に熱狂するが、人間には憎悪や殺戮の欲動のようなものが働いているため戦争へと突き進んでいってしまうのではないか。」とも言っている。

「人間の欲動には二種類のものしかない。一つは、生を統一し、保存しようとする欲動(性的な欲動)、もう一つは、破壊し、殺害しようという欲動です。(攻撃欲動ともいう)

物理学の分野でいう、引力と反発力に類似したもの、この二つの欲動が協力し、対抗することで生命のさまざまな現象が誕生するのです。」と言っている。

死の欲動とエロスの欲動、心理学的な観点からの文化、文化の発展をもたらすものは戦争を防ぐように機能すると言っている。

項 目

内 容

備
考

第二次ポエニ戦争で敗れたカルタゴは、ローマと講和 (BC202 年) し、その後約 50 年間ローマの覇権の下で平和に生きてきた。

ところが、BC149 年 - 146 年の 3 年間に、二重にも三重にも重なり合っ**て起きた不幸な偶然**ともいうべき出来事により地上より滅亡してしまった。

カルタゴの戦の始めは、ローマに対してではなく、同じローマ支配下にあった隣国ヌミディア王国 (現アルジェリア) との争いであった。

経済力に勝るカルタゴは傭兵によってヌミディア軍をヌミディア領内にまで撤退させることに成功した。その勢いを借りて、ヌミディア王国の首都まで 90 キロと迫った。これは、「ハンニバル戦争」終了後の講和にあるローマの承認なしにカルタゴは他国と交戦することはできないとあることの重大な違反であった。

ローマに派遣された特使は、事態の釈明に努めるが、ローマの裁断は「首都カルタゴは破壊され、住民全員は海岸から 10 ローマ・マイル (約 15 キロ) 離れた内陸部に移住すること」であった。カルタゴの代表はこれを飲んで帰国せざるを得なかった。

ローマの要求を飲んで帰国した代表団は、裏切者の非難をあびて、怒り狂った民衆の手で殺された。

そして、カルタゴの民衆が、反ローマに立ち上がった。

こうしてローマとカルタゴは、最後の時を迎えた。

陥落後のカルタゴは、城壁も神殿も家も市場の建物もことごとく破壊された。

そして、石と土だけになった地表は、平らにならされ、ローマ人が神々に呪われた地にするやり方で、一面に塩が撒かれた。草も生えず、人間が住めない不毛地帯と断罪された。

項目

内容

備考

しかし、カルタゴを滅亡させたローマは、まもなく新たな問題を抱えこむことになる。
ヌミディア (現アルジェリア) の強大化に歯止めをかける存在を抹殺してしまったことになったからである。

4. 現代の三諸悪(トインビー)

三つの関係の正常化(池田)

- (1) 貪欲 (自己の内面)
- (2) 戦争、社会的不公正(人間対人間)
- (3) 利己的人為的破壊(人間対自然)

5. 宗教の性格

- (1) 一神教(キリスト教、イスラム教)—文化の中断、狂信性
人間がその欲望を満たすために、人間以外の宇宙を利用する権利があるとする。
- (2) 汎神教(仏教)—文化の継続、共存

6. 西欧の伝統的宗教にとって変わったもの

- 第一 近代文明、科学的技術の進歩の信仰
(広島と長崎に投下された二個の原爆)
- 第二 ナショナリズム、地域社会における人間の集団力の信仰
キリスト教以前のギリシャ・ローマ世界における都市国家
(アメリカ独立戦争、フランス革命の狂信性)
- 第三 共産主義による社会的不公正の指弾
(不寛容性と排他性、キリスト教の派生的)
「唯一全能の神」→「歴史的必然」への置換
「選ばれた民」→「プロレタリアート」
「一千年王国」→「国家の消滅」
「全人類を改宗させる使命」→「伝道的宗教」「共産主義」

7. 古い宗教、信仰は、人間の欲望、自己の抑制

新しい宗教、信仰は、自己と欲望の解放

8. 仏教を求めて

- (1) 後漢の明帝(64)が、身のたけ一丈六尺の像が宮中の庭に降りた夢を見た。
- (2) 明帝は群臣を集めて、問うたところそれは、西域の浮図だという者があり、郎中の蔡愔を西域に使に出すことにした。